

No.68
2019
12/19



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八地申第4号

12月6日開催

立川駅輸送体制の見直しに関する説明申し入れ **その2**

単なるシステム化では安全・サービスは向上しない

第4項 駅総体における担務の在り方について考え方を示すこと。
また今後の駅輸送職の技術継承・技能伝承をどのように進めるのか具体的に示すこと。

組合の主張

会社の回答・主張

駅のマネジメント出来る人材とは具体的に何か？	駅全体を見て、人材育成出来るようにしていく
信号が大きい変化の施策。信号は特殊作業である。信号業務に精通できる人材をつくるということは議論してきた。どのような考えでいるのか？	信号は年齢が高かった。スキルアップしていかななくてはならない。会社としては多様な経験を積んでスキルアップしてもらおう。

第5項 深夜早朝時間帯・通勤時間帯にダイヤ混乱が発生した場合、
一人で信号取り扱い業務を行う時間が発生するが、
どのように安全とサービスレベルの維持・向上が図れるのか示すこと

一人で信号扱いするのに安全・サービスレベルが上がる根拠は？異常時深夜早朝時間帯だと人員は足りない。	休憩中に社員と共に駅総体でやっていく。異常時は寝ている社員を起床対応して駅総体でやっていく。
グループ会社との連携はどのようになっているのか？	グループ会社は必要な箇所に必要な人員を配置している。比較することが派遣は難しい。人には限りがある。発生事象によって変わる。

駅総体という、まやかして安全は守れない！！

第6項 深夜帯、信号担当が不在となる時間が発生した場合の対応は、
誰が具体的にを行うのか明らかにすること

信号担当がいない時間はあるのか？いない時間帯は何時なのか。	実施したときの教育は現場で検討している。支社から現場にきて教育することも検討している。
異常時の連絡体制など、いないということを前提にホットラインを持っていたら休憩になるのか？	無人の時間があるが、異常時が無ければ休憩してもらおう。休憩中の輸送助役が携帯電話を携帯することを検討している。

休憩時間ではなく待機時間となる施策では安全は保たれない。

第7項 今回の体制変更に伴う異動の考え方について明らかにすること。

第8項 立川駅における将来展望を具体的に示すこと。

駅を盛り上げ、地域全体で変わっていくことである。シームレスな施策を進めていく。	任用の基準、通常の間働の中で総合的判断するもの。駅信号が足りなければ異動することもあり得る。
---	--

安全とサービスレベル向上のためには、人間労働による 安全第一のJR東日本を我々の力で創り上げよう！